

# 2021年（令和3）度事業報告

## 特定非営利活動法人ユナイテッドかながわ

### 1 事業活動報告

神奈川県を中心に、県内外の災害対応特化活動中間支援団体として、災害対応の技術取得の向上を試み、平時からも地域支援活動や地域との協力関係の構築、県内外の活動と情報共有及び人材育成、要配慮者への支援を行い、また、若者たちへの防災意識を高めるため、福祉防災研修や神奈川県内での研修、被災住民や非被災地域住民との交流を深める事で、継続的な防災活動支援と防災の意識の向上を行う事が出来ました。

また、児童支援は地域支援にもつながり、平時からの地域連携強化にもなる、被災地支援は、被災者と共に支え合える地域づくりを目指し地域支援特化団体としてのモデルケースを示し、地域防災と青少年の健全育成に寄与することが出来ました。

今年度事業内容は以下の通りです。

### 2 事業内容

#### (1) 特定非営利活動に係る活動

##### ①災害救援活動

- ・内容 東日本大震災及び令和3年3月発生した宮城県沖地震および福島県沖地震により被災した宮城県石巻市の金華山黄金山神社の復旧・復興活動に対し、やまと災害ボランティアネットワーク（以下「YSV」という。）や王子プロジェクト、ONE TEAMメンバーとともに延べ16日間76人で支援を行った。

令和3年7月豪雨の際には、神奈川県内の鎌倉市、平塚市、伊勢原市、秦野市、小田原市、三浦市及び相模原市藤野地区におけるニーズ調査を1名で実施した。関連して、小田原市久野の法面復旧支援について、1日間10名が参加した。また、熱海市では被災者への家財支援に関する作業応援としてYSV、王子プロジェクト及びONE TEAMのメンバーとともに1日間5名が参加した。

令和3年8月豪雨災害の際には、北広島町災害ボランティアセンター、安芸高田市ボランティアセンターに対し、土嚢袋等の物資支援を延べ2日間7名で行った。

令和4年3月福島県沖地震の際には、延べ3日間18名が宮城県角田市でダンプ搬送等の活動をYSV及びかながわボランティアバスチームのメンバーとともに行った。

岐阜県白川村の白川郷の湯が火災に遭った際には、3日間延べ6名がNPO法人Vネットとともに復旧支援に参加した。

- ・日時 4月、5月、6月、7月、9月、10月、3月 延べ27日間
- ・場所 神奈川県、宮城県、栃木県等災害被災地
- ・従事者人員 延べ123人
- ・受益対象者 災害被災者等
- ・支出額 計260,295円

## ②社会教育の推進を図る活動

- ・内 容 大和市社会福祉協議会と連携した災害ボランティア運営スタッフ養成講座講師として、2日間延べ2名を大和市保健福祉センターへ派遣した。  
また、活動拠点かけはし・やなぎばしにおいて、YSVと連携し、令和4年3月13日子ども体験事業説明会（地域防災推進を含む）を4名で開催した。
- ・日 時 11月、12月、3月 延べ3日間
- ・場 所 神奈川県内
- ・従事者人員 延べ6名
- ・受益対象者 防災、地域防災に関心がある者（高大生など含む）
- ・支出額 2,360円

## ③子どもの健全育成を図る活動

- ・内 容 多くのボランティアさんと株式会社太陽住建ほかの皆様からのご寄付により、8月9日、大和市柳橋の活動拠点として「かけはし・やなぎばし」をオープンさせることができた。  
その後、法人主催の「にじいろ子ども食堂」が令和3年8月から毎月第1日曜日にお弁当配布と交流イベントを述べ8回開催。  
この他に、当法人と吟味ダイニングの共催により令和3年12月から毎月第2、第4土曜日に「吟味子ども食堂」を述べ7回開催。春休み期間には、3月19日から31日まで毎日「春休み子ども食堂」を開催した。それぞれの子ども食堂では、子どもや親子連れとの体験イベントも催され、地域の居場所作りに貢献できた。  
これらの活動は、(株)太陽住建及びYSVと協働で行った。
- ・日 時 7月、8月、9月、10月、11月、12月、1月、2月、3月  
延べ46日間
- ・場 所 大和市内
- ・従事者人員 延べ361名
- ・受益対象者 施設児童、被災児童および貧困児童 延べ1,529名
- ・支出額 2,107,137円

## ④まちづくりの推進を図る活動

- ・内 容 活動拠点かけはし・やなぎばしにおいて、令和3年8月から月1回を目安にフードパントリーを計11回開催し、大和市柳橋地区の住民等へ食品の無料配布を行った。活動に際しては、(公社)フードバンクかながわやセカンドハーベスト・ジャパンかながわ拠点等からのフードロス支援品を活用するとともに、地域住民や会員、TMレスキュー（伊勢原市）、マイクロブ（大和市）、食支援ネットかながわ、法深寺（大和市）などからも食品や衣類、消耗品等を寄附いただいた。

また、令和3年9月5日には子ども防災（マンホールトイレの設置）教育を、10月30日には桜ヶ丘親和会とともにマンホールトイレ組み立て訓練を開催した。

なお、10月2日は自治会清掃にも参加した。

これらの活動は、(株)太陽住建及びYSVと協働で行った。

- ・日時 8月、9月、10月、11月、12月、1月、2月、3月  
延べ14日間
- ・場所 大和市内
- ・従事者人員 延べ71名
- ・受益対象者 ボランティア活動者および地域住民 延べ220名
- ・支出額 93,531円

#### ⑤環境の保全を図る活動

- ・内容 当法人が有するストックヤードの一つ、名倉倉庫がある神奈川県相模原市緑区の名倉地区や大和市柳橋地区の高齢者宅での環境整備活動として草刈りや清掃活動を延べ31日間85人で行った。また千葉県富津市の個人宅での環境整備活動を1日間5人で行った。

令和3年8月に発生した小笠原諸島の海底火山の噴火により、沖縄県各海岸に漂着した軽石の状況を把握するため、沖縄県庁、今帰仁村、本部町、大宜味村、恩納村、うるま市、名護市等へ視察および物資支援、軽石清掃活動を行った。その上で恩納村における軽石除去及び清掃活動を支援するため、土のう袋およびスコップ等の物資支援及び現地ボランティアセンター設立等、現地での中間支援組織としての活動、また現地での軽石清掃活動を延べ25日間20人で行った。沖縄軽石清掃活動及び物資購入の一助とするためクラウドファンディングを30日間行い、計9人の支援があった。

令和4年3月28日～30日「沖縄軽石環境交流プロジェクト」として沖縄支援へのメッセージ入り土のう袋および支援金をお預かりした愛知県および北海道の高校生等を6人招待し、軽石及び環境における学習と清掃ボランティア活動等を行った。このプロジェクトにおいては、沖縄科学技術大学院大学及び沖縄県博物館・美術館、恩納村社会福祉協議会等からの協力を得た。

これらの活動は、YSVと協働で行った。

- ・日時 7月、8月、9月、10月、11月、12月、1月、3月  
延べ87日間
- ・従事者人員 延べ119人
- ・受益対象者 神奈川県民及び千葉県、地域住民
- ・支出額 734,435円

#### ⑥災害時などの情報化を図る事業

- ・内容 災害情報ICTの活用や災害情報の有効活用など

- ・日 時 通年
- ・今年度は活動ができなかった。
- ・支出額 0円

⑦前各号に掲げる活動を行う団体の運営又は活動に関する連絡、助言又は援助の活動

- ・内 容 地域における防災拠点及び困窮家庭、子ども支援における活動拠点として、大和市柳橋にある古民家を改修し、「かけはし・やなぎばし」をオープンした。その後も屋内設備の修繕、片付け、清掃も随時行い、延べ134日間387人の協力があった。多くのボランティアさんおよび株式会社太陽住建、トオル美装、YSV等の協力の賜物である。

YSV および NPO 法人まちのかぜさん等、県内の他団体連携及び情報共有、後方支援のため、会議や総会、訓練、イベント等に延べ36日間117人が参加した。

ほか当法人会員の交流及当法人内情報共有、講習としてざっくばらん会や安全衛生会議、チェーンソー講習会等を行い、11日間、56人が参加した。また技術及び知識向上のための研修に延べ5日間7人が参加した。

理事会および役員会、そのほか特定非営利活動法人に関わる活動として延べ18日間123人の出席があった。

- ・日 時 5月、6月、7月、8月、9月、10月、11月、12月、1月、2月、3月 延べ204日間
- ・場 所 大和市及び神奈川県
- ・従事者人員 690人
- ・受益対象者 神奈川県民及び地域住民
- ・支出額 1,899,542円